

平成 26 年度「総務省の政策評価に関する有識者会議」と  
「総務省行政事業レビュー外部有識者会合」の合同会合（第 1 回会合）の議事概要

1 日時：平成 26 年 6 月 2 日（月）15 時 00 分～16 時 00 分

2 場所：総務省省議室

3 出席者：次のとおり。

（1）構成員（敬称略）

総務省の政策評価に関する有識者会議

北大路 信郷 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授（座長）

菊地 端夫 明治大学経営学部公共経営学科准教授

西出 順郎 岩手県立大学総合政策学部教授

山本 清 東京大学大学院教育学研究科教授

【田中弥生構成員は欠席】

総務省行政事業レビュー外部有識者会合

北大路 信郷 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授（座長）（再掲）

関口 智 立教大学経済学部経済政策学科教授

【有川博構成員、楠茂樹構成員、須藤修構成員は欠席】

（以上 5 名）

（2）総務省

新藤総務大臣、戸塚大臣官房長、佐々木官房総括審議官、武田官房政策評価  
審議官、安藤大臣官房会計課長、小森官房政策評価広報課長 ほか

4 議事概要

（1）新藤大臣挨拶

- ・ 政策評価と行政事業レビューをいかにうまく連携させるか、有機的な成果を得られるかどうかは我が国にとって非常に重要。まず、総務省において先駆的な取組をしていきたい。
- ・ 昨年より、これまで別々に体系づけられていた 2 つの制度を連携させてきたが、今後の方策等についてもご意見をいただきたい。
- ・ 次回以降の会合においても、色々なご意見をまとめて何らかの成果を出していただきたい。

（2）北大路座長挨拶

- ・ 政策評価とレビューは、目的と手段の体系を為すはずだが、まだまだ整理が必要。
- ・ 国の政策は複雑なため、いろいろな工夫も必要。合同会合においては、皆さんのお知恵をいただきたい。

(3) 政策評価・行政事業レビューの実効性向上のための方策について

構成員及び総務省の間で、政策評価・行政事業レビューの実効性向上のための方策等について議論が行われた。

(4) 合同会合の進め方について

- ・ 小森官房政策評価広報課長から、総務省における政策評価の重点化と行政事業レビューの連携強化に関する取組及び総務省における政策評価実施サイクルについて説明。
- ・ 次回の「総務省の政策評価に関する有識者会議」と「総務省行政事業レビュー外部有識者会合」の合同会合において議論の対象とするテーマの選定については、今後、構成員同士でメールで意見を出し合い決定することとなった。
- ・ また、議論の際の視点についても、事務局が提示した視点の例と、本日の議論を踏まえ、座長から提案されることとなった。

以上